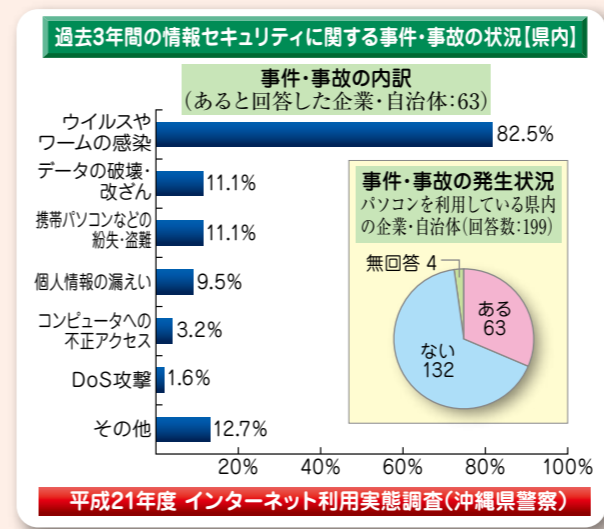


情報セキュリティの重要性について

あなたの会社は大丈夫ですか？

今日、企業・自治体にとってパソコンやインターネットは業務に必要不可欠なものとなっています。しかし、「不正アクセス」「情報漏えい」などの情報セキュリティに関する事件・事故が県内でも数多く発生しており、ひとたび発生すると、業務停止による売上げの減少、組織の信用失墜など、大きな損失につながります。被害を未然に防ぎ、パソコンやインターネットを安全に利用するためには、事前の対策が何よりも重要です。



～コンピュータウイルスへの対策～

- ウイルス対策ソフトの導入と自動更新
- 修正プログラムの適用
- ファイル共有(交換)ソフトを利用しない

※アップロード、バージョンアップなどをきちんと行いましょう。
※利用すると情報漏えいウイルスに感染する可能性が高くなります。

ファイル共有(交換)ソフトのウイルス感染によって、意図しない情報流出を引き起こし、著作権法違反などの捜査対象となることもあります!

コンピュータウイルスの危険性

コンピュータウイルスとは、知らぬ間にコンピュータに感染し、さまざまな悪影響を与えるプログラムの総称です。コンピュータウイルスに感染すると、

- ・情報漏えい
- ・システムの停止
- ・他のコンピュータへの攻撃
- ・パスワード、クレジットカード番号などの流出

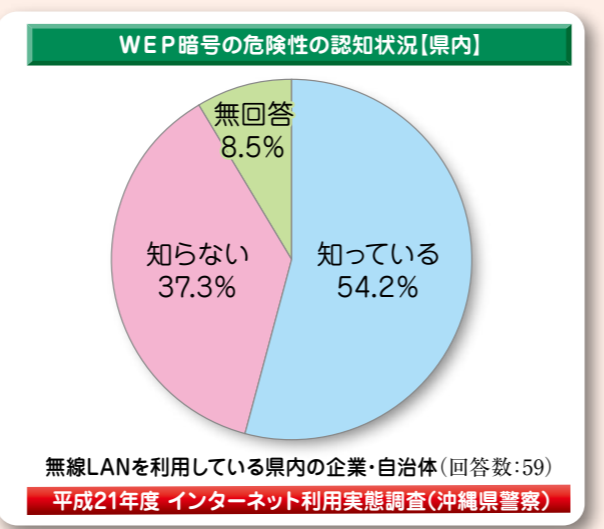
などの被害を受ける可能性があります。

～無線LANの対策～

- 無線LANが本当に必要か検討する
- WEP以外の暗号を利用する
- 複数のセキュリティ対策を利用する

※WEP暗号は簡単に解読されることが分かっていますので、より強固な暗号(WPA2など)を利用しましょう。
※ESS-IDの適切な設定、MACアドレスフィルタリング、アクセスポイントのパスワードの適切管理などのセキュリティ対策を積極的に利用しましょう。

無線LANの管理は重要!



～情報資産を守るためのルールの一例～

- 許可なく情報を持ち出さない
- 私物パソコンを持ち込ませない

※情報漏えいを引き起こす原因の一つが、勝手な情報の持ち出しです。
※セキュリティ対策を施していないパソコンを、社内ネットワークに接続することは大変危険です!

情報セキュリティ教育の実施状況【県内】

実施予定	9.0%
実施している	40.2%
実施していない	50.3%
無回答	0.5%

パソコンを利用している県内の企業・自治体(回答数:119)

平成21年度 インターネット利用実態調査(沖縄県警察)

情報セキュリティ教育の重要性

今日、企業・自治体が多額の情報資産(顧客情報、技術情報など)を保有していることはめざらしくありませんが、その管理を怠ると悪意のある者に盗まれる可能性があります。

情報資産を守るためには、組織でルール(情報セキュリティポリシーなど)を策定し、その重要性を従業員・職員が理解しなくてはなりません!

残念なことに、県内企業・自治体の情報セキュリティ教育の実施状況は、半数に至っていないのが現状です。

定期的に情報セキュリティ教育を実施しましょう!

警察の取り組み

県警察では、県民の皆さんがインターネット上のトラブルに巻き込まれないよう、

- 防犯講演への講師派遣
- 電算担当者向けの情報セキュリティセミナー
- 県警ホームページによる情報発信

(<http://www.police.pref.okinawa.jp/>) などの手段を用いて、防犯対策情報の提供に努めています。

困ったことがあれば、警察へ相談してください!

沖縄県警察ホームページ

サイバー犯罪対策についての情報

沖縄県警察情報セキュリティセミナーの様子

無線LANの危険性

無線LANは、ケーブル配線が不要で便利な反面、屋外に漏れた通信電波が悪用されやすく、情報漏えいや不正利用などの被害に遭う可能性があります。

また、無線LANの暗号化方式の一種であるWEP暗号は、研究者から「十秒程度で解読することが可能である」との指摘を受けています。

無線LANの利用にあたっては、有線LANよりもセキュリティ対策をしっかりと行いましょう。

標的型(スパイ型)攻撃に注意!

取引先や関連団体などの人物を装って、危険な電子メールを送りつける手法を標的型(スパイ型)攻撃といいます。その電子メールを開封すると、ウイルス感染や偽ホームページに誘導される可能性があり、結果として個人情報などを盗まれることがあります。

県内でも発生しており、注意が必要です!

お問い合わせ ● 県警察本部 生活保安課 TEL:098-862-0110(内線3493)